



日本遺産「鯨とともに生きる」

2016年、和歌山県の熊野灘沿岸地域の捕鯨文化に関するストーリー

『鯨とともに生きる』が日本遺産に認定されました。

鯨は、日本人にとって信仰の対象となる特別な存在でした。

熊野灘沿岸地域では、江戸時代に入り捕鯨の技術や流通方法を確立し、

鯨に感謝しつつ鯨とともに生きてきました。

この地域には当時の面影を残す旧跡がまちなかや周辺に点在し、

鯨にまつわる祭りや伝統芸能、食文化が今もなお受け継がれています。



宇久井半島の山見台跡群 (那智勝浦町)



燈明崎 (太地町)



河内祭の御舟行事 (串本町)



三輪崎の鯨跳 (新宮市)

Contents

● くじら体験	3
● アクティブ体験	5
● 歴史・自然観察体験	9
● ものづくり体験	11
● エリアマップ	13



熊野灘ってこんなところ

新宮市

世界遺産のまち 熊野の都



熊野速玉大社



新宮城跡



神倉神社

那智勝浦町

歴史と自然が溶け合うまち



那智の滝



大門坂



熊野那智大社

太地町

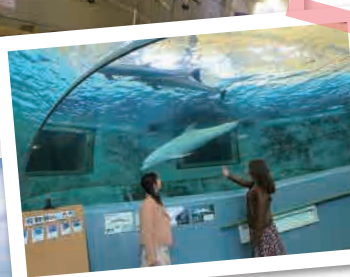
古式捕鯨発祥のまち



太地町立くじらの博物館本館



梶取崎



太地町立くじらの博物館
海洋水族館 (マリナリウム)

串本町

雄大な自然に恵まれた本州最南端のまち



串本海中公園

串本沿岸海域のサンゴ群落



橋杭岩